

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 特集 第1回座談会「県内公民館の現状と課題」

- 4.5
- 2 トピックス 「中越地区公民館長・主事・公運審等研修会」
- 3 視点 「公民館とは？」 県高齢者大学副学長・佐藤 貞正
- 3 ひろば 「新潟県社会教育研究大会魚沼大会を終えて」 魚沼市社会教育委員・松井 茂
- 6 実践記録シリーズ 「彫刻界の名匠 石川雲蝶」ガイド活動 ボランティアグループ・三条雲蝶会
- 7 サークル交流 「根知谷に響かせるベルリングガールズ」(糸魚川市) / 「素朴で奥深い水墨画に魅せられて」(田上町)
- 7 素顔拝見 岸 宗光さん(村上市) / 齊藤 章宏さん(佐渡市)
- 8 お元気ですか 「元気です」刈羽村・品田 隆俊さん
- 8 恵贈資料紹介 information



粟島浦村成人式 (粟島浦村)

表紙解説

粟島浦村で27年ぶりに成人式を開催。5名の若者が出席しました。

# 中越地区公民館長・主事・公運審等研修会 平成二十五年十一月二十一日(木) 十日町市千手中央コミュニティセンター

今年度の中越地区公民館連絡協議会の研修テーマは「絆と活力あるコミュニティ形成の拠点としての公民館をめざして」「むすぶ」役割を生かした公民館運営」です。

今回の研修会は、十日町市と津南町の公民館が主管となつて計画・運営しました。当日はやや肌寒い日ではありましたが、中越各地区から、139名の方が参加しました。

### 【開会式】

中越教育事務所社会教育課の堀課長、十日町市の藏品教育長様よりご祝辞をいただきました。

堀課長 祝辞



その後、研修テーマに沿った実践事例の発表を行いました。

藏品教育長 祝辞



### 【事例発表】

「つどう・まなぶ・むすぶ 公民館」地元十日町・津南町の公民館実践事例から」と題して、十日町市中央公民館の柳昌光主任は、旧勤労青少年ホームの跡地に作られた駐車場を活用して雪祭りを盛り上げられないかと考えて実施した雪祭りイベントについて発表しました。

公民館の先輩、青年学級OBに相談し、地域の自治組織とのつながりを活用して実行委員会を立ち上げ、「雪上よさこい総踊り」「雪の芸術展」「キャンドルロード」等を実施。そして、公民館を核に、青年学級生やOB、地域コミュニティを結ぶ有意義な事業となった様子が伝えられました。

津南町公民館の小林義明主事は、異年齢の子どもたちが協力し合つて自然体験活動を行い、自主性、社会性を培つていく「サバイバルキャンプ」事業について発表しました。



ボランティアの他に、地域から運営スタッフの他に、一般公募し、その結果、小学校時代にキャンプに参加した高校生や青年が、ボランティアとして参加するという好循環を生み出しているということでした。

### 【分散会】

事例発表後、小グループになり、各市町村の取組や課題について情報交換を行いました。



### 【講演】

飯田市公民館副館長の木下巨一氏から、飯田市における取組について、「私にとつての公民館、地域にとつての公民館」地域に根ざした飯田型公民館の実践から」と題して、お話しいただきました。

講師 木下巨一氏



飯田市の公民館は、「集まる、見つける、つながる、実現する」をテーマに事業を展開しており、①地区公民館に自治振興センターが併設されている、

②専門委員会制度があり、住民が地区館の企画に直接関わっているという二つの大きな特徴があるということでした。

今回、「次世代の育成」という公民館の最重要課題の解決に向け、「高校、大学、行政」がパートナーシップ協定を結んで実施している「地域人教育」について紹介してくださいました。

「地域を理解し、愛し、貢献する人材の育成」、「帰ってきたいと考える人づくり」をねらいとし、高校の授業を公民館の主事が協働して創り、高校生と一緒に地域づくりを進めていこうという取組でした。

新潟県ではあまり例のない取組であり、公民館が、公民館本来の機能を果たしている素晴らしい取組であると感心しました。

質問をする参加者



(呉井)



# 視点

## 「公民館とは？」

県高齢者大学副学長 佐藤 貞正

「公民」といえば、中・高校生は社会科で学習している。中学校の教科書を開いてみた。「社会をつくって生活する人間は、つねに二つの側面をもつだろう。一つは、社会の中で他人とかかわりながら、もっぱら自分の利益を追い求めたり、自分の欲望を中心に考えたり、自分の利益を追求したりする面であり、もう一つは、自分の利益や権利よりも、むしろ国家や社会全体の利益や関心という観

古い話である。ある町で「この1年間、公民館に行ったことがあるかどうか」調査したら、「ある」と答えた人は1割以下であった。当時、関係者の間で、1割公民館ということが、大きな話題になったのである。

公民館とは？ 頭から離れないテーマだ。

まさに、「公民」であり、「公務」である。

つまり、地域の住民(公民)が集まり、自助と共助の学習活動(公務)を実践する。その館こそ、「公民館」ではないだろうか。

点から行動しようとする面である。前者が「私」を中心とするならば、後者は「公」を中心として市民として社会生活を営んでいるのだが、とくに後者を中心に市民をみたと、これを「公民」とよぶ」とあった。漢和辞典で「館」を調べたら、食+官(公務を行う多くの人が集まること)とある。

地域の住民(特に高齢者)が普段着姿で集まり、自分の利益や権利よりも、みんなの利益や関心のあることなどを、楽しく話し合う。

# H O T N E W S 掲 示 板

## 関ブロ第2回理事会開催

11月15日(金)に東京・八重洲会館で第2回関ブロ理事会が開催されました。湯浅会長、田原事務局長、鳥津事務局員が出席しました。席上8月に行われた関ブロ新潟大会の報告や次期埼玉大会の開催要項の審議等が行われました。また、理事の研修として全公連副会長・神崎節生氏の講話がありました。



神崎氏は新しい公民館運営の視点を鋭く指摘されました。

また、来賓として全公連の石川事務局長と村上次長が出席しました。石川事務局長からは、3年後からブロック大会開催補助金を大幅に増額する案が示されました。

# ひろば

## 「新潟県社会教育研究大会 魚沼大会を終えて」

魚沼市社会教育委員 松井 茂

八海山の初冠雪が出迎えた素晴らしい秋晴れの中、大会スローガン「今後の地域コミュニティ形成と社会教育の役割」を掲げた、第13回 新潟県社会教育魚沼大会は無事終了した。主催者の県側の思いと構想が「ソフト」なら、開催地の手法は「ハード」と言えるだろう。ソフト面が仮分数になるとハード面(現場)の動きは緊張し、どこかぎこちない。逆にハード面が大きいと全体がまとまらず、中身が透けてしまう。正に両者の「接点とバランス」が大会を左右すると言っても過言でない。



今回はどうだったろうか？ 閉会式後会場を後にする参加者の顔は皆明るく、ねぎらいの様子が見て取れた。「おもてなし」満載のお弁当コシヒカリ新米の力、大なり。第4分科会は村上市社会教育委員の和田さんによる平均年齢66歳のECHIGO歩こう会の現状と課題を聞き、そのすばらしさに感銘し、正に社会教育委員として活動しなければならぬ「生きた大きなヒント」を得ることが出来た。次の開催地は、既にカウントダウンが始まる。





# 「内公民館の現状と課題」

**(皆木)** 職員研修会を頑張っている地区は強いと思います。資質の向上はもちろん職員のやる気にもつながるのではないのでしょうか。

**(田原)** 派遣社会教育主事制度が県にあった頃の市町村の活気はどこに行ってしまったんでしょうね。研修会も盛んでした。

**(高桑)** この制度が無くなってから公民館職員が短期に交代するようになりました。人が育たなくなりましたね。職員が頻繁に変わるので市民が公民館に行きづらくなっています。

**(皆木)** 年3回の公運審では事業評価が弱い。忙しくて手がまわらないのでしょうか。職員の経験年数が少ないので事業の理解が出来ていないという悪循環が起きています。

**(高桑)** 研修ということでは、職員が基本的なことさえ勉強不足だと思います。例規集や社会教育ハンドブックなどを見ていないのではないのでしょうか。担当事業で忙しく勉強は後回しで結局出来ないのが現状ですね。

**(皆木)** 忙しいから勉強できない。理解できないまま事業展開では良いものを市民には提供できないですね。

**(秋山)** 私は、公民館は忙しかったが楽しかったですね。今の人たちはその余裕さえないのでしょうか。

上越市の協力員は教育委員会が面接で29人を決めました。ハローワークを通しましたから全くの未経験者が多く、基本を教わって中央からメールの支持で仕事をしています。次の仕事の腰掛けとと思っている人もいます。

私は公民館職員に頼まれて社会教育委員長を引き受けましたが、その4月には担当部署の全員が異動になり哑然としました。

公民館職員として光る人が他の部署に行ってもったいないとつくづく思いますね。

社会教育委員・公運審委員として感じていることは行政のための会議要員になってしまっているということですね。

**(皆木)** 新発田市は、社会教育委員と公運審を分けました。目的が違うと言うことでしょうが、どこが違うのかまだ曖昧な状態です。「子どもたちの生きる力を育む社会教育はどうあればよいか」という活動目標を提示されても公募の委員には「生きる力」そのものの理解が出来ていません。委員の研修も大切ですね。



記録者：上越・箕輪主任

**(秋山)** 公運審は諮問されたことを答申する。社会教育委員は自発的に動いて活動すると自分の中で違いを分けています。

**(皆木)** 関プロ大会の分科会に出て、県内のある市では公運審がなく職員体制ができていないなどの現状があり驚きました。また、先ほどの秋山さんの社会教育委員と公運審委員の役割についてですが、これは委員自身の認識が大きく違うのが現実ではないのでしょうか。

**(田原)** 時間も残り少なくなってきましたが、今後の公民館活動について一言ずつ。

**(高桑)** これからは家庭教育の充実が大事ですね。ラインとかネットのツール問題などの子どもたちにまつわる問題が多いです。今の世の中でやらなければならないことは何か、地域の元気とはどういうことなのか、子どもたちの未来の社会はどうなるのかなどを公民館が講座などの開設で警鐘を鳴らすべきなのではないのでしょうか。

**(皆木)** 私ごとながら、次男に「若者に、今、何が一番必要か」と問いましたら「一番は安定雇用」だと答えました。暮らし向きが良くなってから初めて学習への心の余裕が出来るのだと知りました。少子化問題でも結婚したくても雇用のことで出来ない状態ではかわいそうですね。暮らし向きについての講座なども良いテーマですね。

元県公連事務局長だった上村捨二郎氏の出版本「公民館冬物語」は現在の公民館の現状と活性化策をずばり指摘しています。それは公民館には館長、職員ありきです。頑張ってくださいね。

**(秋山)** 雇用があっても貧界(貧困世界)の者が多いですね。若者には年収200万円以下の者が多いです。今は、幸せ感が多様化していて、食べていけたらやりたいことをやる、金はないが人のネットワークはあるなどの面白い活動をしている人もいます。

**(田原)** 本日はご多用の所をご出席の上、大変貴重なご意見をありがとうございました。時間が参りましたので以上で終了とさせていただきます。良いお年をお迎えください。



# 特集

## 第1回座談会「県」

昨年好評だった座談会を今年度も実施しました。1回目を今号で掲載します。2回目は1月号に掲載する予定です。

テーマは「公民館の現状と課題」で、県内公民館の活動の推移や現状に詳しいベテランの方々3人をメンバーにして意見交換を行いました。

### 座談会メンバー

秋山三枝子（上越地区・上越市 NPO法人くびき野サポートセンター代表）

高桑紀美江（中越地区・燕市 県生涯学習協会理事）

皆木 邦夫（下越地区・新発田市 社会教育委員の会議委員長）

司会 田原 理（県公連事務局長）

記録 箕輪香織（上越市公民館主任）

高津和子（県公連事務局員）



**(田原)** 本日はお忙しいところ座談会にお出いただきありがとうございます。本日は県内の上・中・下越からベテランのお3人からお集まりいただきました。それぞれ県内公民館活動の歴史的推移や現状に精通されている方々です。

今日は、市町村合併で大きく変容したといわれる公民館の現状についてを前半に、後半は今後の活動の重要視点について忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

最初のテーマは「合併前の公民館と現在の公民館について」です。

**(高桑)** 燕市は、合併で地区館が分館になって活動が急に活気がなくなり活用されなくなりました。中央館だけは変わらないのですが。



**(秋山)** 上越市は社会教育委員と公民館運営審議会委員が兼任になりました。兼任になったものの、それぞれの委員の活動はそれぞれ違うのかがまだ良くわからないままです。先般の会合で事業説明をした担



当者に質問しましたが全く答えられないという状態でした。協力員の待遇は良くなっていますが、そのぶん仕事の量や責任が重くなっていて悩みがあるようです。

協力員によって活動が異なり、草取りや清掃など管理人になっている人もいます。また、若い人は全然いませんね。

**(田原)** 中央館はまだ活動を維持していますが、周辺はどうですか。

**(皆木)** 新発田市は中央館1、地区館3、分館11です。活動については地区館までは公運審で話が出ますが分館の活動は話題にすらならない。紫雲寺の方の話では合併前にあった活動支援は今ほとんどないという現状で、合併していいことはないと言っていました。



**(田原)** 合併前は地域密着型でしたが、いまはどうなんでしょう。

**(高桑)** 合併後は、中央館の職員は多少増えても、地域が広がっているので仕事量が多くカバーできないのではないのでしょうか。結局、目先の仕事に追われてきめ細かい住民対応ができていないのが現実ですね。

**(秋山)** 職員の仕事ですが、私どものNPOは活動資金集めに奔走するなどもっと厳しい活動をしています。役所の人は合併後の危機感が少ないのでは。管理職も一般職も含めてですが。

**(田原)** 公民館の生命線ともいえる講座ですが、現状はどうでしょう。課題があればどうすればよいのでしょうか。

**(高桑)** 趣味的講座が多いですね。社会にとって必要な、必要課題の講座が少ないですね。たくさん集まり、楽しく学べるのは良いのですがその場限りになってしまうのは本来の講座とは違います。講座の企画や運営を未経験者が担当するので、地区のまとめ役の人に頼むという事態まで起きています。

**(秋山)** 担当といえば、上越市のサポーター制度は良いと思っていましたが、事業のあるときに依頼を受けて補助するとう程度の活動になってしまいました。分館が70ありますが、地域の事情が違うので横並びの展開は出来ないと思います。すべて一律ではなく、館ごとにばらつきがあっても良いくらいのゆとりが欲しいですね。

# 実践記録

189

シリーズ

## 「彫刻界の名匠 石川雲蝶」ガイド活動

ボランティアグループ 三条雲蝶会

### 1 三条雲蝶会の発足と活動

三条雲蝶会は、平成21年度「団塊世代等社会参加促進モデル事業」(新潟県教育委員会主催)として三条市生涯学習課が開催した「石川雲蝶ガイド養成講座」の受講生35名のうち、雲蝶に魅了された15名が講座修了後にボランティア団体として結成しました。

以後4年間、雲蝶作品のすばらしさを県内外に広く知っていただくガイド活動をはじめとした様々な活動をおこなっています。

平成26年6月には「雲蝶生誕200周年祭」を当市で開催する予定です。



石動神社でガイド活動中。

三条市・井栗地区公民館  
「実年教室」雲蝶会の会員  
による講話「柿の実を持つ猿」  
(蓮如院)「亀」  
頭、手足、甲羅など  
精緻極る傑作。(静明院)

(2)石動神社は明治元年に火災で焼失。同2年から同6年の再建時に雲蝶が渾身の作品を製作しました。雲蝶54歳から58歳までの遺作です。

「龍」(石動神社)  
拝殿正面にあり、神社  
の災難よけに製作した  
雲蝶渾身の作品。

### 2 石川雲蝶

日本のミケランジェロといわれた雲蝶は、幕末の激動時代に江戸で生まれ、縁があって三条市に永住。

酒と人を愛し、神仏を敬い彫刻師「石川安兵衛雲蝶正照」として三条市を中心に県内各地に多くの名作を遺しました。

三条市以外には、魚沼市・西福寺開山堂、永林寺、旧栃尾市・秋葉神社、貴渡神社の作品が著名です。

三条市には法華宗総本山「本成寺」と吉野屋地区の石動神社に雲蝶の渾身の作品が遺されています。

(1)本成寺は明治26年の火災で本堂や納骨堂の雲蝶の作品を消失しました。

次の写真は後に寄進されたものと塔頭に遺された代表的な作品です。いずれも、木の性質を巧みに生かしたすばらしい作品です。

「牛の間の臥牛」  
(本成寺本山)  
\*雲蝶の長男・儀平が  
寄進した作品。「神功皇后」(石動神社)  
拝殿脇障子にあり、天皇の  
后が子に授乳している図。

### 3 今後の課題

- (1)雲蝶会の活性化とガイド力の向上
- (2)雲蝶を切り口とした「まちおこし」の活動
- (3)平成26年6月「雲蝶生誕200周年祭」の開催準備
- (4)文化財保護活動の推進  
〈問い合わせ〉三条雲蝶会

0256 (33) 1754 角田 道雄



### 根知谷に響かせる ベルリングガールズ

ベルリングガールズ

私達は「ハンドベル隊」で、糸魚川市根知で毎年冬に行われるイベント「根知谷にきらめくキャンドルロード」の実行委員でもあります。

このイベントでは、雪の中に灯すキャンドルのあかりで、雪深い根知谷の冬を優しく照らし、幻想的な雪景色を、地域の皆さんと共に作り上げています。

私達はその会場にてハンドベル演奏を披露している他、地区敬老会や市の老人福祉施設などでも演奏しています。根知谷で出会えた仲間と、ここでの暮らしを楽しみ、これからも、この元気なハンドベルの音色を根知谷に響かせていきたいです。

糸魚川市・ベルリング  
ガールズ  
佐々木恵利子 記



### 素朴で奥深い水墨画に 魅せられて

田上町墨遊会

「水墨画を描いてみたい」という声を請け、生涯学習教室として発足したこの会は、今年で満二十八才を数え、数多くの会員が共通の趣味を楽しむ場として、和気あいあいの中で運営されてきました。ど



田上町・田上町墨遊会  
水野 公吉 記

ちらかと言えば高齢者が多い会ですが、この熟年の感性が素朴で奥深い、そして味のあつた水墨画の源となっています。発表の場として町民文化祭、役場ロビー展を始め市展等の公募展への出展も積極的に取り組んでいるところです。水墨画は墨と水の割合で濃淡、明暗、遠近等を表わす技術的には高度の絵画です。この魅力にとりつかれた会員は自宅学習、月二回の勉強会と楽しみつつ自己研鑽に励んでいます。

彼は、社会体育担当で今年4年目になります。両泊親善体育大会（寺泊との親善スポーツ大会）や人生駅伝大会など、年間数々のスポーツ大会を計画し運営するまさしくスーパーエースです。仕事が出来るのは勿論、この若さで凄く気遣いのできる人でもあります。

そんな彼は家に帰れば、この若さで6歳（女の子）と4歳（男の子）の2児のパパな

佐渡市赤泊地区公民館  
主事 齊藤 章宏さん



のです。2人ともパパが大好き。この2人と話しているときは、とても楽しそうに話していて、家庭的な一面も見せてくれます。この若さで仕事も家庭もパーフェクトな彼が何歳なのか、気になる方は☎へご一報ください。

(佐渡市赤泊地区公民館 清水 裕美 記)

三面川に鮭が戻り始め、朝日や飯豊の山々は白く輝き、やがて村上は長い冬を迎える。

村上地区公民館に輝く若者がいる。彼の名は岸宗光。あの伊藤内閣時の外務大臣陸奥宗光と同名なのである。不平等条約改正に奔走しカミソリ大臣と恐れられたのは余りにも有名な話。

さて、吾が村上地区公民館の宗光くん、本年4月に村上市生涯学習推進センターの開設に伴い公民館が移転し、彼もどこからともなく異動して来た。公民館開設の準備、利用団体、各種公民問事業の企画調整、引

村上市村上地区公民館  
主任 岸 宗光さん



率、3人の社会教育指導員の指導等奔走している。彼の数少ない良いところは、穏やかで、公民館活動の原点に立ち返り、利用者との対応、地域の公民館としてのあり方を十分に理解し、何よりも何時もニコニコしてる姿がいい。今、公民館が必要としている人材がここにいる。久々に北の村上に巨大な星が現れた。

流れ星にならぬことを願う。  
(村上地区公民館 社会教育指導員 佐藤 克雄 記)

## 素顔 拝見



惠贈資料紹介

新発田市と村上市が平成25年度の文芸誌を発刊しました。

どちらも市内に在住、通勤、通学されている方や市にゆかりのある方々の作品が掲載されています。

項目は「詩」「短歌」「俳句」「川柳」「随筆」「小説」「コント」「童話」「特別寄稿」等で構成されています。

文芸しばたは380ページで、豊富な作品量ですが、特に



新発田市 村上市

小学生の「詩」と「川柳」が多いのが特徴です。

文芸むらかみは248ページで、随筆と特別寄稿が充実しています。

問い合わせ...

新発田市中央公民館

0254-22-8516

村上市中央公民館

0254-53-2446

お元気ですか



「元気です」 品田 隆俊 (刈羽村)

私は30年ほど前に刈羽村の体育会を結成して、スポーツの振興と施設の整備を提言してきました。

現在、自分の健康づくりのためにゲートボールを行い、後輩の育成と高齢者の健康づくりに努めています。

8年前から開催している「ファミリーゲートボール大会」を紹介します。集落で班単位、または団体でチームを編成し(子どもから高齢者まで)、毎年お盆過ぎの休日に、集落の公園で開催します。終了後は全員で表彰式と懇親会を行い、親睦と交流を深め、地域のコミュニケーションの向上を図り、地域活性化にがんばっています。

暑い日以外で汗をかいてみんなで楽しく過ごすことは、すばらしいです。これが自分の健康にもなり、元気のもとだと思い、今後も続けていくつもりです。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

information

第36回全国公民館研究集会 in 埼玉  
第55回関東甲信越静公民館研究大会

来年の関ブロ大会は埼玉県で開催されます。同時に全国大会も併せて開催されます。

期日：平成26年10月16日(木)、17日(金)

会場：埼玉県熊谷市熊谷会館他

大会テーマ「公民館よ あつくなれ！」

～時代の変化に対応し、

地域との連携を深める公民館をめざして～

16日(木)の午前中に関ブロ大会、午後から全国大会を予定しています。同ブロック地域での開催です。ぜひ多数の方から参加をお願いします。

未来に残そう美しい山村

山村地域は、食料の生産、水源のかん養、国土の保全、空気の浄化、心のやすらぎの提供など様々な役割を果たし、国民の生命と生活・財産を守っています。

全国山村振興連盟新潟県支部

支部長(村上市長) 大滝 平正

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

今年に関ブロに始まり、関ブロで終わりました。

まもなく、記録集が完成します。準備委員会の活動から3年間を費やしましたが、イベント

開催の難しさを痛感しました。

役員等多くの皆さまに支えられての3年間でした。おかげさまで決算は赤字にならずに済みそうです。

これが一番心配でした。ありがとうございました。良いお年を。

(田原)